■OSAを巡る最近の動き

2024年12月　NGO非戦ネット

►2024年度対象国は4か国、総額50億円（2024年11月30日メディア報道）

（読売新聞）https://www.yomiuri.co.jp/politics/20241130-OYT1T50100/

►開始から2年間の国別実績・予定

【2023年度】

対象国	供与資機材	供与先	分野	金額（円）
フィリピン	沿岸警備レーダーシステム	海軍	沿岸監視、海洋状況把握能力	6億
マレーシア	救難艇等、警戒監視の活動に活用される機材	国軍	海洋安全保障	4億
バングラデシュ	警備艇	海軍	警戒・監視、災害対処、海洋安全保障	5.75億
フィジー	警備艇、救難艇、水中カメラ等	海軍	警戒・監視、災害対処、海洋安全保障	4億
合計				19.75億

【2024年度】

対象国	供与資機材	供与先	分野	金額（円）
フィリピン	複合艇、沿岸監視レーダー、船舶自動識別装置 警戒管制レーダー関連機材	海軍 空軍	警戒監視	16億
モンゴル	航空管制に関する機材		航空管制	？
インドネシア	警備艇などが念頭		海洋安全保障	？
ジブチ	警備艇などが念頭		海洋安全保障	？
合計				50億

※フィリピン（署名済）の内容は外務省ホームページ及び日刊まにら新聞記事より。
他の3か国は1月以降署名予定、内容は読売新聞2024年11月30日記事より。

■OSA重点国･フィリピン （2年連続で供与）

►2024年12月5日、日比政府間でOSA実施の署名締結

►援助内容（外務省発表及びマスコミ報道より）

＜フィリピン海軍に対して＞

･複合艇（高速ゴムボート）：中国との南シナ海領有権争いでフィリピンの実効支配の拠点となっているアユギン礁への補給任務でも活用

･沿岸監視レーダーシステム：2023年度OSAから引き続き

･船舶自動識別装置（ＡＩＳ）：2017年以降日本が比に無償譲渡した練習機TC90向け等

＜フィリピン空軍に対して＞

･三菱電機が輸出した警戒管制レーダーの関連機材

►フィリピンOSAから読み取れるのは･･

- 南シナ海（対中国）を念頭に、海洋状況把握（MDA）能力の向上を具体化する支援
- 日本の他のスキーム（ODAの巡視船支援、民間輸出のレーダー、自衛隊の中古練習機支援）との連携が明確
- フィリピンOSAは今後も継続（2025年度に向けすでに事前調査の入札手続き）
- 日比GSOMIAの締結も視野か（今年、米比GSOMIA締結）

■OSAに関連するその他の動き

►モンゴルとの防衛装備品・技術移転協定

2024年12月11日に署名　16カ国目

＊武器の移転（輸出や供与）のために必要な協定。協定締結によって
さらなる武器の輸出・移転の可能性も。

►2025年度OSAに向けて

概算要求では、予算51億円（前年とほぼ同じ）＋事項要求

事項要求：金額を確定させない形での予算要求

金額が見えてくるのは2025年通常国会の予算審議か

対象国候補：フィリピン、マレーシア、太平洋島しょ国
（事前調査の入札が終わっている）

►フィリピンRAA（部隊間協力円滑化協定）及び実施法案

自衛隊の派遣を容易にするための一種の地位協定

2025年通常国会で審議予定か